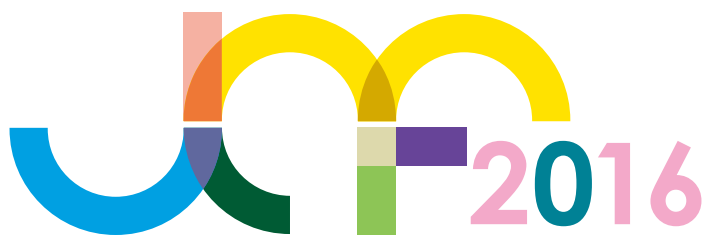


日本を代表する**がんの専門家**が**日本橋**に大集結!!

- Upgrade Your Knowledge on Cancer!! -

25th
CancerNet Japan
Since 1991
CancerNet Japan 25th Anniversary



ジャパンキャンサーフォーラム@日本橋

開催報告



Japan Cancer Forum とは

「知り」「学び」「集う」ことで勇気や希望を持つ

現在、日本人の死因の第1位はがんであり、国民の2人に1人が一生で何らかのがんに罹患すると言われています。しかしながら近年、新薬の開発や医療技術の進歩に伴い、個別化治療も進み、治療成績は向上、がんと共に生活している人も増えています。

こうした背景から、がんを「知り」、最新のがん医療や課題を「学ぶ」ことが重要であり、がん患者・家族・医療者・市民が「集う」ことで、勇気や希望が持てる場とするために、本フォーラムを企画しました。

一昨年の第1回「AKIBA Cancer Forum」は秋葉原での開催。1,025名（延べ3,008名）にご参加頂き、大変好評を得たことから2年目はさらに規模を拡大、学会・関連NPO等とも連携し、5大がんをはじめ、希少がんや在宅医療、遺伝、栄養など、60講義を72名の講師にご登壇いただき、キャンサーネットジャパンスタッフ及びボランティアスタッフ95名で運営し、1,414名（延べ3,974名）の皆さま、36団体のサポートを得て無事盛況に終えることができました。

3年目を迎えるキャンサーフォーラムは、秋葉原から日本橋に。

2016年は、マイクロソフトが全世界的に展開しているWindows10 Upgrade Your World キャンペーンの助成および株式会社コングレ、株式会社新産業文化創出研究所の特別協力を受け、秋葉原から日本橋に場所を移し、「Japan Cancer Forum (JCF)」と名前を変え、全国にがん情報を発信致しました。

疾患別の最新医療セミナーだけでなく、がんサバイバーの話、そしてがん患者団体の展示ブースなど、がん患者や家族が楽しめるプログラムを用意、100名を超える講師にご協力頂きました。

協力・協賛・後援・共催団体

【特別協力】 株式会社コングレ／株式会社新産業文化創出研究所

【協 賛】 特定非営利活動法人 日本肺癌学会

【プログラム共催】 特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構／神奈川胃癌ネット／神奈川標準のがん治療開発支援システム／樋口宗孝がん研究基金／がん情報サイト『オンコロ』／特定非営利活動法人 JORTC／一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会／中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会／株式会社ホスピタリティワン／一般社団法人訪問看護支援協会／日本がん免疫学会／一般社団法人キャンサーフィットネス／じんらぼ／特定非営利活動法人腎泌尿器疾患研究所／公益財団法人日本対がん協会／特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会／株式会社バル・オネスト／一般社団法人日本がん看護学会／特定非営利活動法人希望の会／特定非営利活動法人 GISTERS

【ブース出展協力】 日本イーライリリー株式会社／サンスター株式会社／株式会社エス・エム・エス

【プログラム協賛】 株式会社ジャンパール／株式会社クリニカル・トライアル／金原出版株式会社／グンゼ株式会社／セコム損害保険株式会社／バイエル薬品株式会社／株式会社ダイアナ

【後 援】 厚生労働省／東京都／中央区／国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター／一般社団法人日本癌治療学会／公益社団法人日本臨床腫瘍学会／日本癌学会／一般社団法人日本乳癌学会／公益社団法人日本婦人科腫瘍学会／一般社団法人日本胃癌学会／日本頭頸部癌学会／特定非営利活動法人日本小児血液がん学会／一般社団法人日本臨床試験学会／特定非営利活動法人日本緩和医療学会／公益社団法人日本放射線腫瘍学会／特定非営利活動法人日本肺癌学会／一般社団法人日本ペインクリニック学会／特定非営利活動法人西日本がん研究機構／特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構／特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会／大腸癌研究会／日本肝癌研究会／公益財団法人前立腺研究財団／公益財団法人日本対がん協会／公益財団法人日本骨髄バンク／特定非営利活動法人日本医療政策機構／公益社団法人日本医師会／公益社団法人東京都医師会／国立研究開発法人科学技術振興機構／公益社団法人日本整形外科学会／日本癌局所療法研究会／特定非営利活動法人日本免疫学会／一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会／日本がん免疫学会／日本臨床腫瘍薬学会／一般社団法人日本がん看護学会／一般社団法人日本在宅医療学会／一般社団法人日本血液学会／一般社団法人日本口腔腫瘍学会／公益社団法人日本薬剤師会／一般社団法人日本病院薬剤師会／公益社団法人日本看護協会／公益財団法人先端医療振興財団／日本専門看護師協議会／東京商工会議所中央支部／特定非営利活動法人神奈川胃癌ネット／特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ／樋口宗孝がん研究基金／精巣腫瘍患者友の会 J-TAG／腎癌研究会／中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

【協 力】 株式会社 STJ レンテック



岩瀬 哲（いわせ さとる）
認定NPO法人キャンサーネットジャパン理事長
東京大学医科学研究所附属病院
緩和医療科 特任講師

がん医療の進歩がめざましい昨今、がん向き合うサバイバーは、あらゆる角度から最新の情報を求めています。我々キャンサーネットジャパンは必要ながん情報を届け、サバイバーが知り・学び・集うために、年に1度の本企画を、今年は日本橋で2日間にわたり開催し、盛況のうちに終えることができました。日本マイクロソフト株式会社のWindows10 UpgradeYourWorld キャンペーンによる助成と、株式会社新産業文化創出研究所の支援、そして株式会社コングレの多大なるご協力を得られなければ、この企画は実現できませんでした。また、無償でご講演くださった143名の講師の皆様、セッション共催やブース出展でご協力いただいた企業・団体の皆様、準備から当日まで裏方で頑張ってくれた、ボランティア含む100名のスタッフ、そしてご参加くださった2,100名の皆様に心より御礼申し上げます。

来年は、8月19・20日に、また皆様にお会いできることを楽しみにしています。

Japan Cancer Forum 2016 開催概要、実施概要、収支報告

■開催概要

開催日程：2016年8月6日（土）、7日（日）の2日間
 開催会場：コングレスクエア日本橋2・3Fのべ11部屋
 プログラム数：75

（メイク&フォト、レモネードスタンド含む）

無償でご登壇頂いた講師陣：総勢143名

運営CNJ及びボランティアスタッフ：100名

（うち、2日間スタッフは85名）

■ Looking Back JCF2016 < 参加者・ご寄付 >

	JCF2016	ACF2015	ACF2014
参加者数	2,106名	1,414名	1,025名
延べ参加者数	5,704名	3,779名	3,008名
寄付総額	734,508円	609,824円	286,582円
内レモネードスタンド寄付額	70,355円	128,989円	98,286円
後援団体数	51団体	36団体	26団体

※寄付総額：レモネードスタンド寄付額を含む

Japan Cancer Forum2016@日本橋 coordinated by CancerNet Japan,NPO

■収支報告

※ Japan Cancer Forum 2016 は、講師・司会の皆さま、運営ボランティアの皆さまが無償でご協力くださったことにより、今年度も開催することができました。講師・司会・運営ボランティアの皆さまへ、この場を借りて御礼申し上げます。

収入の部

項 目	金 額	摘 要
参加費	0	2,106名参加
広告協賛	712,800	6社
企業展示	648,000	3社
共催セッション(1)	1,188,000	定員100名未満
共催セッション(2)	1,134,000	定員100名以上
助成金	6,242,377	Windows 10 Upgrade Your World キャンペーン
寄付・協賛金	984,508	当日寄付、協賛金
自己資金	3,195,375	
(収入 計)	14,105,060	

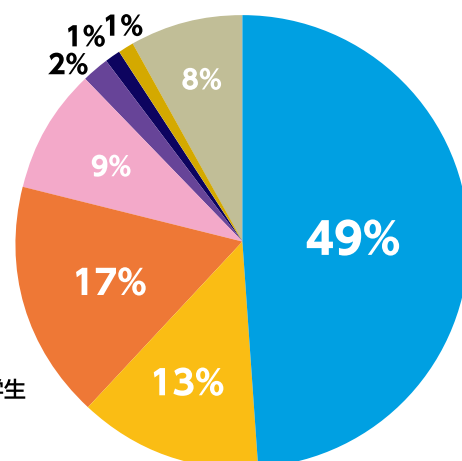
支出の部

項 目	金 額	摘 要
1. 事前準備関係費	8,551,347	
事前準備人件費	6,400,000	事前準備スタッフ10名（常勤・パート含む）関係費
プログラム関係費	1,008,720	特設Webサイト制作、サーバー、アップデート作業等
プログラム調整費	199,550	コンテンツ事前打合せ会議費、交通費等
通信費	203,500	メール便等（作業費を含む）250円/件×814件
広報費	739,577	フライヤー、ポスター制作、印刷、全国送付、Facebook等広告費
2. 当日運営関係費	4,076,213	
会場関係費	2,655,139	機材、証明、看板、展示設営費、映像収録費、外部委託人件費
運営関係費	928,880	当日運営スタッフ人件費、宿泊費、交通費等
飲食関係費	303,924	当日講師・運営スタッフ弁当、講師飲料、懇親会等
諸雑費	188,270	プログラム・当日配布物印刷、保険等
※謝礼金	0	講師・司会、事前準備・当日運営ボランティアスタッフ
3. 事後処理費	1,477,500	収録動画編集公開、報告用冊子制作等
(支出 計)	14,105,060	

■参加者属性グラフ

例年、患者・家族が最も多く、初年度は参加者の8割超が患者・家族でしたが、今年は約半数が患者、医療従事者が17%、患者家族が13%と続きました。医療従事者の割合が増加、また、ヘルスケア関連企業からの参加者も増え、3年目にして、患者だけに留まらず、様々な方にも参加していただきやすいイベントとなったことが伺えます。お忙しい中足をお運び頂きました皆さま、誠に有難うございました。

■患者 ■家族 ■医療従事者
 ■ヘルスケア関連企業 ■メディア ■学生
 ■行政関係 ■その他



8月6日(土)【1日目】

時間	会場名	ホール A	ホール B	ホール C	ホール D	ルーム A1	ルーム B
11:50-12:00			オープニングセッション				
12:00-12:50		JGOG 共催※1 子宮頸がん 金尾 祐之 がん研有明病院	胃癌ネット/KSATSS※2 共催 胃がん 國崎 主税 横浜市立大学附属市民総合医療センター 円谷 彰 JCHO 二本松病院 / 福島県立医科大学 長 晴彦 神奈川県立がんセンター 利野 靖 横浜市立大学	Over Cancer Together サイバーストック	がんと漢方薬 上園 保仁 国立がん研究センター研究所	BEC・CIN 活動報告	肝臓がん 長谷川 潔 東京大学大学院
13:00-13:50		JGOG 共催 子宮体がん 長尾 昌二 兵庫県立がんセンター	がんと生活設計 黒田 尚子 ファイナンシャルプランナー 石田 周平 社会保険労務士		がんの補完代替療法 大野 智 大阪大学大学院	病気に向き合う 子どもと家族 三浦 絵莉子 石田 智美 聖路加国際病院 聖路加国際病院	JORTC 共催※5 緩和ケアと臨床研究 石木 寛人 東京大学医科学研究所附属病院
14:00-14:50		JGOG 共催 卵巣がん 長尾 昌二 兵庫県立がんセンター			前立腺がん 堀江 重郎 順天堂大学大学院 赤倉 功一郎 JCHO 東京新宿メディカルセンター	胆道がん 宮崎 勝 国際医療福祉大学三田病院	JSCS 共催※6 悪性黒色腫・ その他の皮膚がん 山崎 直也 国立がん研究センター中央病院
15:00-15:50		JGOG 共催 婦人科がん治療を理解 するための基礎知識 佐藤 美紀子 横浜市立大学附属病院	いのちのケア 田中 雅博 普門院西明寺 / 普門院診療所	MHF 共催 AYA世代の特徴と課題※3 川井 章 国立がん研究センター希少がんセンター 加藤 陽子 国立がん研究センター希少がんセンター	在宅移行ケア 岩瀬 哲 東京大学医科学研究所附属病院	頭頸部がん 藤井正人 永寿総合病院	
16:00-16:50		リンパ浮腫の治療 紀川 純三 松江市立病院	すい臓がん 中野 聡夫 東海大学	がんの臨床試験のこと 西條 長宏 日本臨床腫瘍学会 滝口 裕一 千葉大学医学部附属病院	がんの疼痛緩和 有賀 悦子 帝京大学	悪性骨軟部腫瘍 (肉腫) 川井 章 国立がん研究センター中央病院	がんと口腔ケア 百合草 健志 静岡県立静岡がんセンター
17:00-17:50		がんと食事、栄養のこと 川口 美喜子 大妻女子大学	大腸がん 外科的治療 金光 幸秀 国立がん研究センター中央病院	臨床試験調査結果発表 日本の臨床試験の何が問題? 滝口 裕一 藤原 紀子 千葉大学医学部附属病院 MD Anderson Cancer Center 長谷川 一男 エドワード・L・トリンブル 日本結核学会 米国国立癌研究所	骨転移と がんのリハビリ 篠田 裕介 東京大学医学部附属病院	脳腫瘍 大野 誠 国立がん研究センター中央病院	アスベスト患者と※7 家族の会共催 中皮腫治療のいま 名取 雄司 中皮腫・じん肺・アスベストセンター
18:00-18:50		がんの放射線治療 唐澤 久美子 東京女子医科大学	大腸がんの 薬物療法 山口 研成 がん研有明病院	オンコロ共催 臨床試験の見つけ方※4 松本 英里子 臨床研究情報センター 可知 健太 エドワード・L・トリンブル 株式会社クリニック・トリアル 米国国立癌研究所	がんの療養 場所選択 行田 泰明 わたクリニック	甲状腺がん 杉谷 巖 日本医科大学付属病院	薬剤師の活かし方 野村 久祥 国立がん研究センター東病院

展示ブース 3F ホワイエ

3F のホワイエに、企業ブース、患者会ブース、支援団体ブースなど 35 団体の様々なブースが立ち並び、来場者の方々は、各ブースで、相談や、アプリの体験、試供品を受け取ったり、ネイルやハンドマッサージ体験などを受けていらっしゃいました。来場者の方から、「ブース出展の種類も素晴らしかった!」とのお声をいただいた通り、乳がん、胃がん、皮膚がん、腎がん、精巣腫瘍、GIST など、普段一堂に会することがない様々ながん種の患者会や支援団体に出席いただけたことも、来場者の皆さんの満足度の高さにつながったと思われます。また、コンgresクエア日本橋の Pepperくんが撮影コーナーに立ってくれて、「Japan Cancer Forum へようこそ~! 楽しんでってくださいね!」とおもてなしをしてくれました。



●ブース出展者の声

●昨年よりも狭かったのですが、その分、身近な感じもして良かったです。がんと暮らしの相談ブースもたくさんの方が真剣に相談に来てくださいました。今後の活動に一つのヒントをいただいたように感じました。ありがとうございました。

●おかげさまで、2日間で約40名の方に外見ケアのご希望をいただきアドバイスすることができました。時間の予約をしておまじいただいた方も多く、対応できなかった方もおられ申し訳なく思っております。ハンドメイド作品のご購入や人工エビテーゼにご興味いただいた方など、パンフレットのなくなりで推測するには約150名程の方が umi ブースで何かの情報提供及びコミュニケーションができたと思われます。各ブースのスタッフの方々も患者さんが多いのでメイクやネイルの質問で多くの方と交流ができ、またどこかでお逢いしましょう!と良いつながりができました。

●今回初めての出展でございましたが、乳がんだけではなく他の病気の方の色々な活動を知ることができ、つながりを持たせて頂いてとても有意義なものとなりました。また、ブースへも沢山の方がお見えになり会の活動を知っていただき 又色々なお話を聞かせて頂いて、とても充実したものになりました。このような有意義な場に参加させていただき大変感謝しております。

8月7日(日)[2日目]

時間	会場名	ホール A+B	ホール C	ホール D	ルーム A1	ルーム B
10:00-10:50		乳がん 乳がん治療最新トピックス ホルモン陽性乳がんの薬物療法 HER2 陽性乳がん・トリプルネガティブ乳がんの薬物療法 岩瀬 拓士 がん研有明病院 佐治 重衛 福岡県立医科大学 清水 千佳子 国立がん研究センター中央病院	がんところのケア 川名 典子 杏林大学医学部付属病院	じんらぼ・ 腎泌尿器疾患研究所 共催 透析患者と腎がん 近藤 恒徳 東京女子医科大学病院 大沼 聡 東京女子医科大学移転者の会	小児がん 小児急性リンパ性白血病 加藤 元博 成育医療研究センター 若年性骨髄単球性白血病 坂下 一夫 長野県立こども病院 小児脳腫瘍 寺島 慶太 成育医療研究センター 肝芽腫 井田 孔明 帝京大学医学部附属溝口病院 小児胚細胞腫瘍 上原 秀一郎 大阪市立総合医療センター	精巣腫瘍 中村 晃和 大阪府済生会吹田病院
11:00-11:50			がんと災害 菅原 よしえ 宮城大学 笠谷 美保 千葉ろうさい病院			膀胱がん 菊地 栄次 慶應義塾大学
12:00-12:50		ホスピタリティワン / 訪問看護支援協会共催 家族目線からのエンディング 高丸 慶 株式会社ホスピタリティ・ワン	キャンサーフィットネス共催 ホルモン療法の副作用対策 田中 喜代次 山内 英子 筑波大学大学院 聖路加国際病院	日本対がん協会共催 リレーフォーライフって何? 岡本 宏之 坂下 千瑞子 日本対がん協会 東京医科歯科大学	バル・オネスト共催 がん患者さんと調剤薬局 齊田 征弘 株式会社バル・オネスト	JSCN 共催 ナースの役割、見えていますか? 早川 満利子 小澤 桂子 糸川 紅子 東京医科大学 NIT 東日本理学院 静岡国立大学
13:00-13:50		肺がん薬物療法 加藤 晃史 神奈川県立がんセンター 佐々木 治一郎 北里大学病院	Over Cancer Together サバイバーズトーク	高齢者のがん 浜本 康夫 慶應義塾大学	血液がん 多発性骨髄腫 今井 陽一 東京大学医科学研究所附属病院 骨髄異形成症候群 急性骨髄性白血病 内田 直之 虎の門病院 慢性骨髄性白血病 急性リンパ性白血病 木村 晋也 佐賀大学医学部附属病院	希望の会共催 スキルス胃がん 太田 恵一朗 日本医科大学付属病院
14:00-14:50				乳房再建 佐武 利彦 横浜市立大学附属市民総合医療センター		食道がん 浜本 康夫 慶應義塾大学
15:00-15:50		JACI 共催 がん免疫療法 北野 滋久 国立がん研究センター中央病院	がん 医療関連制度 藤原 康弘 国立がん研究センター	JSFP 共催 がんと生殖機能(妊孕性温存) 鈴木 直 古井 辰郎 聖マリアンテ医科大学 岐阜大学	リンパ腫 慢性リンパ性白血病 伊豆津 宏二 虎の門病院	GISTERS 共催 GIST 西田 俊朗 国立がん研究センター中央病院
16:00-16:50		クロージング セッション 勝俣 範之 日本医科大学 武蔵小杉病院 藤原 康弘 国立がん研究センター中央病院 長谷川 一男 NPO法人肺がん患者の会 ワンステップ! 大橋 靖雄 中央大学理工学部 関原 健夫 日本対がん協会 鈴木 美穂 乳がん経験者 丹藤 昌治 厚生労働省		※1 JGOG: 特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構 ※2 胃癌ネット / KSATSS: 神奈川胃癌ネット / 神奈川標準的がん治療開発支援システム ※3 MHF: 樋口宗孝が研究基金 ※4 オンコロ: がん情報サイト「オンコロ」 ※5 JORTC: 特定非営利活動法人 JORTC ※6 JSCS: 一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会 ※7 アスベスト患者と家族の会: 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 ※8 ホスピタリティワン / 訪問看護支援協会: 株式会社ホスピタリティワン / 一般社団法人 訪問看護支援協会	※9 JACI: 日本がん免疫学会 ※10 キャンサーフィットネス: 一般社団法人キャンサーフィットネス ※11 じんらぼ / 腎泌尿器疾患研究所: じんらぼ / 特定非営利活動法人腎泌尿器疾患研究所 ※12 日本対がん協会: 公益財団法人日本対がん協会 ※13 JSFP: 特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会 ※14 バル・オネスト: 株式会社バル・オネスト ※15 JSCN: 一般社団法人日本がん看護学会 ※16 希望の会: 特定非営利活動法人 希望の会 ※17 GISTERS: 特定非営利活動法人 GISTERS	

サバイバーズメイク&フォトプログラム 2F 総合受付横

JCFに参加された患者さんが気軽に立ち寄れる、プロによるメイク&フォトコーナーを設置いたしました。男女問わず、たくさんの方に参加いただき、メイクをし、髪をセットし、カメラの前に立つと、身体も心もまっすぐな気持ちになります。お一人で、また、大切なご家族やご友人との素敵な1ショットは、これまでの辛い思いをクリアにし、未来を写し出しているようでした。

そしてフォトグラファーの方のご厚意で、その場で写真を出力して下さるサービスも!新しい自分との出会いに笑顔溢れる空間でした。また、これまでの参加者のフォトギャラリーコーナーは、行き交う来場者の目を惹きました。ご協力いただいたチームの皆様、素晴らしい時間をありがとうございました!



これまでの写真展も同時開催

レモネードスタンド@JCF 3F 通路

今年も都立国際高校の生徒有志の皆さんが、会場内でレモネードスタンドを開催してくれました! 昨年協力してくれた高校3年生の皆さんが、1、2年生にレモネードの作り方、配り方をレクチャーし、レモネードを提供しながら募金活動をしてくださいました。レモネードスタンド活動が、代々引き継がれていき、大変頼もしい高校生の皆さんです!

室内とはいえ、真夏の日差しの中、参加された来場者の方々がたくさん立ち寄って下さり、熱気溢れる会場に、涼しいひとときが訪れた空間でした。70,355 円の募金が集まりました。ありがとうございました。



Prorgam Pick UP

家族目線からのエンディング

8/7 3F ホール A+B

終末期を迎えるご本人と、ご家族のサポートをされている株式会社ホスピタリティ・ワンの代表取締役の高丸慶さんから、ご本人とご家族、それぞれの最期の迎え方への希望を聞き、両者の想いのズレをできるだけ無くして、「良い人生だった」と、やり残しのない満足いく看取りをサポートされた具体的な経験談を交えたお話をいただきました。また、ご本人がお亡くなりになった後、ご家族が普段の生活に戻るまでがサポートであることなど、多くの気づきをいただきました。参加者からは、「家族目線からのエンディングは、まだまだ一般に知られることのない家族側へのメンタルケアですが、必要とされる分野だと思いました。」との感想をいただきました。

○『家族で看取る おくりびとの心得 10: 余命を告げられた日から家族ができること』（学研プラス）2016 年 8 月 9 日発売。

血液がん

8/7 3F ルーム A1

血液がんのセッションでは、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、リンパ腫の 7 疾患を取り上げ、4 名の先生方より最新の治療情報を詳しく講演いただきました。参加合計人数は 210 名と予想を超え、大半の講演は満席となり立ち見でも部屋に入れない参加者から非常に残念との声もありました。血液がんは治療法の進歩が目覚ましく、新薬も次々承認されているため、短い質疑応答の時間からも、患者や家族は常に最新の医療情報を求めていることを再認識しました。また、今年は医療従事者の参加も多く、患者と同じ目線で情報を求めていることが伺えました。



Over Cancer Together

8/6・7 3F ホール C

がん患者とその家族、遺族、ケアをする人、友人など、広くがんに関係のある人々（＝がんサバイバー）が自分の体験を語り、その話を聞くことで、日本のがんに関する課題を明らかにして「がん患者を含む国民が、がんを知り、がん向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指そうという「Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～（OCT）」プロジェクト。がんサバイバー対象のスピーキングセミナー開催と、実際に体験談を語ることへの支援を行っています。このセッションでは 3 月に開催したセミナーに参加したサバイバーの皆さんが、自らの体験をもとに皆さんにお伝えしたいことを語りました。



いのちのケア

8/6 2F ホール B

今回のキャンサー・フォーラムでは治療法のみでなく、いつか必ず我々皆が向き合うことになる「死」についても取り上げました。がん患者の痛みには身体的、精神的、社会的、そしてスピリチュアルの 4 つの側面があると言われてしています。がん治療は医学（科学）の専門家である医師と 2 人 3 脚で行っていきませんが、治療法がなくなった時、患者は誰と歩めばよいのでしょうか。日本にはスピリチュアルペインをケアする人が不足している、文学・哲学・宗教等（人文学）を学んだ臨床宗教師が医療現場に必要なと田中先生は話します。



クロージングセッション 2F ホール A+B

「どこへ向かう日本のがん医療？ “混迷を深める日本のがん医療。私たちの選択は？”」というテーマでお送りした 2016 年の JCF のクロージングセッションには、各領域を代表する 7 名の登壇者を招聘し、がん医療を取り巻く社会的課題を共有し、ディスカッションを行いました。「がんになっても生きやすい社会は出来るのか？」「批判的に情報を評価し行動に繋がる知識を習得する能力であるヘルスリテラシーを身につけるには」「高齢者のがん医療の何が問題なのか」「高額化するがん医療費、国民皆保険を維持しながら制度をいかに見直すか」「科学的根拠に基づく EBM と対話に基づく NBM を融合させ、医療不信を無くすためには」「高額薬剤問題に対して患者が出来ること」「がん 100 万人時代、国のがん対策は？」など、各登壇者から多くの問題提起を受け、白熱した議論が交わされました。それぞれの思いを持って JCF へ来場してくださった参加者がこのセッションをきっかけに問題に関心を持ち、希望を持ち、一歩ずつ前に進むことでがん医療を取り巻く諸問題が解決に向かうことを願い、来年 8 月 19 日・20 日に開催する JCF2017 に繋がりたいと思います。



参加者の声

★たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました★

●患者の声

●参加費無料、講演者の方々も無償でやっていただいていることに驚きました。多くの専門家の方々の最新のお話が聞けて、参考に出ることが多かったです。素晴らしい場だと思います。今後も続けてほしい。

●がん患者は多いと聞くと、実際職場にほとんどいない。自分の身近にもいないです。またあえて率先して自らはがんサバイバーということも出来ない中で、同じ話題、状況の方達と時間を共有できたのが良かった。

●病気に対して逃げていた自分がいましたが、講義を聞いて改めて立ち向かう勇気をもったような気がします。これからもずっと続けてほしいと思います。

●医療従事者の声

●難しい内容もありましたが、アップデートな情報に大満足でした。

●自分のわからなかった事が理解出来た。

●全体の内容が多岐にわたりとても興味深いものばかりでした。

●ヘルスケア関連企業勤務の声

●専門領域から患者の視点まで幅広く聞くことが出来、本当に参加して良かったです。

●登壇者の声

●この度は大変お世話になり誠にありがとうございました。一大イベントの運営、お疲れさまでございました。昨年よりも更に多くの方々がお越しになられていて、貴会のご活動を頼りとされている患者さん、関係者の皆さまが大勢いらっしゃることを再認識いたしました。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

●JCF の大成功で何より。スタッフのみなさんの多大なご尽力に感謝するとともに、こういった企画を推進できるエネルギーに敬服しています。来年も新たなチャレンジも含めて良い企画になりますように・・・。

●共催団体の声

●JCF2016における私どものセッションでは、心温まるご支援をいただき感謝に尽きません。私の準備不足を補っていただき、盛会のうちにセッションを終了できて安堵しております。またこのような機会に恵まれましたら幸いに存じます。

●今回も大変お世話になりました。誠に有難うございました。盛況に終了し何よりです。理事長にもその旨、報告しております。

●患者家族の声

●がんで悩んでいる人やそれを支援している人がこんなにたくさんいるんだと励まされた。

●ボランティア中心の活動と伺い驚きました。素晴らしいです。ありがとうございました。また世の中の方々がこんなにがんに対して高い関心をもっていることにも驚きました。

●こんなにも大々的な企画を実行して下さいありがとうございました。がん患者の家族として、どうしたらよいか模索中でしたが、たくさんの答えやヒント、勇気をいただきました。

●様々、多くの方の厚意によって成立していると強く感じました。本当に心より感謝申し上げます。一人でも多くの人が知識を蓄え、より理解し、社会や政治に反映されるような力、流れが生み出せるといいなと思いました。

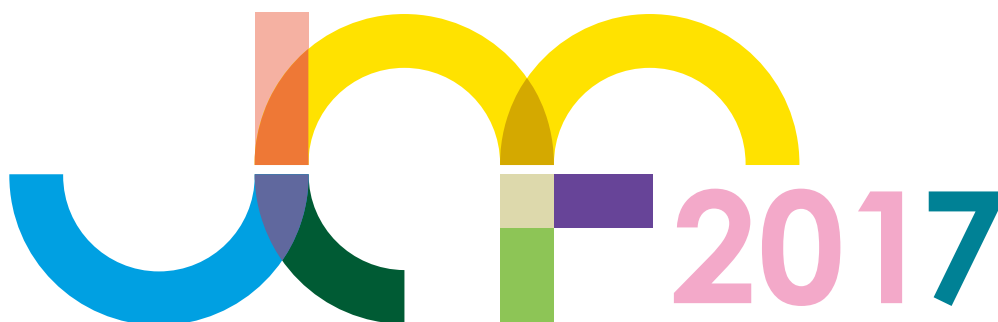
●ボランティアの声

●会場にいるみなさん（主催側、来場者問わず）有益な時間にしたという思いと熱量がヒシヒシと感じられる2日間でした。その一員になれて良かったです！

●ご来場頂いた方々が、知識を得られる機会に少しでも役に立てていただければ幸いです。次回もまた参加させて下さい。

●たくさんの参加者やスタッフから笑顔を一杯いただきました。来年もまた参加します！！

Save the date!!!
来年も開催決定!



ジャパンキャンサーフォーラム@日本橋

Japan Cancer Forum

@コングレスクエア日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル2・3階

2017.08.19-20(Sat-Sun)



★協賛団体も募集しています★

詳しくはこちら

<http://www.cancernet.jp/jcf>

ジャパンキャンサーフォーラム

検索



編集発行/認定 NPO 法人がんサネットジャパン 発行月/2016年10月

住所/〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

ホームページ/ <http://www.cancernet.jp/>

TEL / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073 E-Mail / info@cancernet.jp